

☆テレビ・ビデオ・ゲームの影響を考えよう

～独立行政法人 国立病院機構 仙台医療センター～

○テレビ・ビデオ・ゲームの影響を考えてみましょう

現代の日本では、新たな子どもの社会問題が次々と登場しています。その背景には、テレビ・ビデオ・ゲーム・スマホなどの非現実的映像への長時間の接触があると考えられています。現実世界を離れての時間が行き過ぎると、現実世界の中で直接顔を合わせての空間と時間の中で作られる親子の絆（人間の絆）の形成が障害されるからです。その結果として、「自分の気持ち」を伝える言葉や、「ほかの人の気持ち」を感じる力の発達が障害され人間として生きるために必要な力が育たないためと考えられます。～中略～メディアを利用するルールをつくることは大切です。メディアを上手に活用し、メディアを正しく読み解く力を育てることも大切です。



☆お手伝いが子どもにもたらす効果とは？

～ベネッセ 教育情報サイト～



○お手伝いのメリットとは？

・親子のコミュニケーションになる

ひとつのことを一緒に行うことで、すぐに「じょうずね」「ありがとう」など、褒めること、感謝することができます。

・自立につながる

できることが増えると自信となり、自立につながっていきます。

・責任感が身につく

役割分担をしてお手伝いをお願いすることで「自分はこれをやるんだ」と責任をもって取り組むようになります。保護者から任されていると感じることで、自信となり、責任感を持つようになるでしょう。

・自分で考える力がつく

どうしたらうまくできるかなど考えながらお手伝いをするようになります。自分で考えて行動することで、考える力が養われます。

・自己肯定感を育む

初めてのことも多く、失敗したり、工夫したりすることで上手になります。経験を積むことや保護者に褒められるなど、認めてもらえることで自信がつくようになり、自己肯定を育むことができます。